

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：教育学部

学年：3年

留学先大学：University of Jyväskylä

現在の学期：Autumn semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	10:15-11:45 Multilingual and Intercultural Communication Competence
火	12:15-13:45 Language and Learning Environment
水	
木	8:30-10:00 Multilingual and Intercultural Communication Competence 10:15-11:45 Multilingual and Intercultural Communication Competence
金	12:15-13:45 Education in Finland
土・日	

履修科目や近況について

Multilingual and Intercultural Communication Competence では多言語や多文化状況におけるコミュニケーションを学びます。全学部の学生が履修することができ、最終タスクとしてグループプレゼンテーションがあります。

Language and Learning Environment では学習環境のデザインやそのデザインが学習にもたらす効果などについて学びます。教育学部生向けの授業で、授業前課題を踏まえた上でのディスカッションの時間が長く、最終タスクとしてグループプレゼンテーションがあります。

Education in Finland では初等教育から高等教育まで、フィンランドの教育全般について学びます。全学部の学生が履修することができ、最終タスクとしてグループワークがあります。

生活面では、仲良くなった留学生と定期的に会うことで交流を深めると共に、言語の練習にもなっています。また、毎週火曜日の夜には寮主催のスポーツセッションがあり、体を動かす良い機会になっています。このほかにも、大学や学生団体主催のイベントに足を運び交友を広げることができています。徐々に課題の量が増えてきているので、時間の使い方を考えながら生活していければと思います。

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：教育学部

学年：3年

現在の学期：Spring semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	14:00-16:00 Formal Language Development
火	14:00-16:00 Bilingual Education and CLIL
水	8:30-11:00 English as an International Language
木	
金	12:15-15:00 Dialogic Theory and Dialogic Pedagogy
土・日	

履修科目や近況について

Formal Language Development では、低学年の生徒が構造的で形式的な言語慣習や考慮事項にどのように触れ、取り組むことができるかを、具体的な授業例や評価方法、フィードバックとともに学びます。

Bilingual Education and CLIL では、ヨーロッパ諸国で盛んなバイリンガル教育を CLIL（内容言語統括型学習）の視点から探究します。近隣の小学校に行って授業を観察する機会もあります。

English as an International Language と Dialogic Theory and Dialogic Pedagogy の授業はまだ始まってはいませんが、前者は、国際言語としての英語の役割や影響力を教育学的な視点から考察します。後者は、バフチンの対話理論という概念を主に教育学の観点から考えます。私の履修科目の中で最も難しい授業です。

ユヴァスキュラでの生活にもかなり慣れてきています。厳しい寒さもあって寮のサウナに頻繁に通い、サウナで合う人々と交流しています。秋学期同様、週一回のスポーツセ

セッションに参加しており、仲良くなった留学生と食事をしたり出かけたりしています。

